

杏林大学医学部附属病院

高齢診療科 医局説明会

2021/11/4

職歴



埼玉医科大学卒業

杏林大学病院高齢診療科入局



2017年4月 高知県に帰郷

竹下病院に勤務



「老年内科外来」

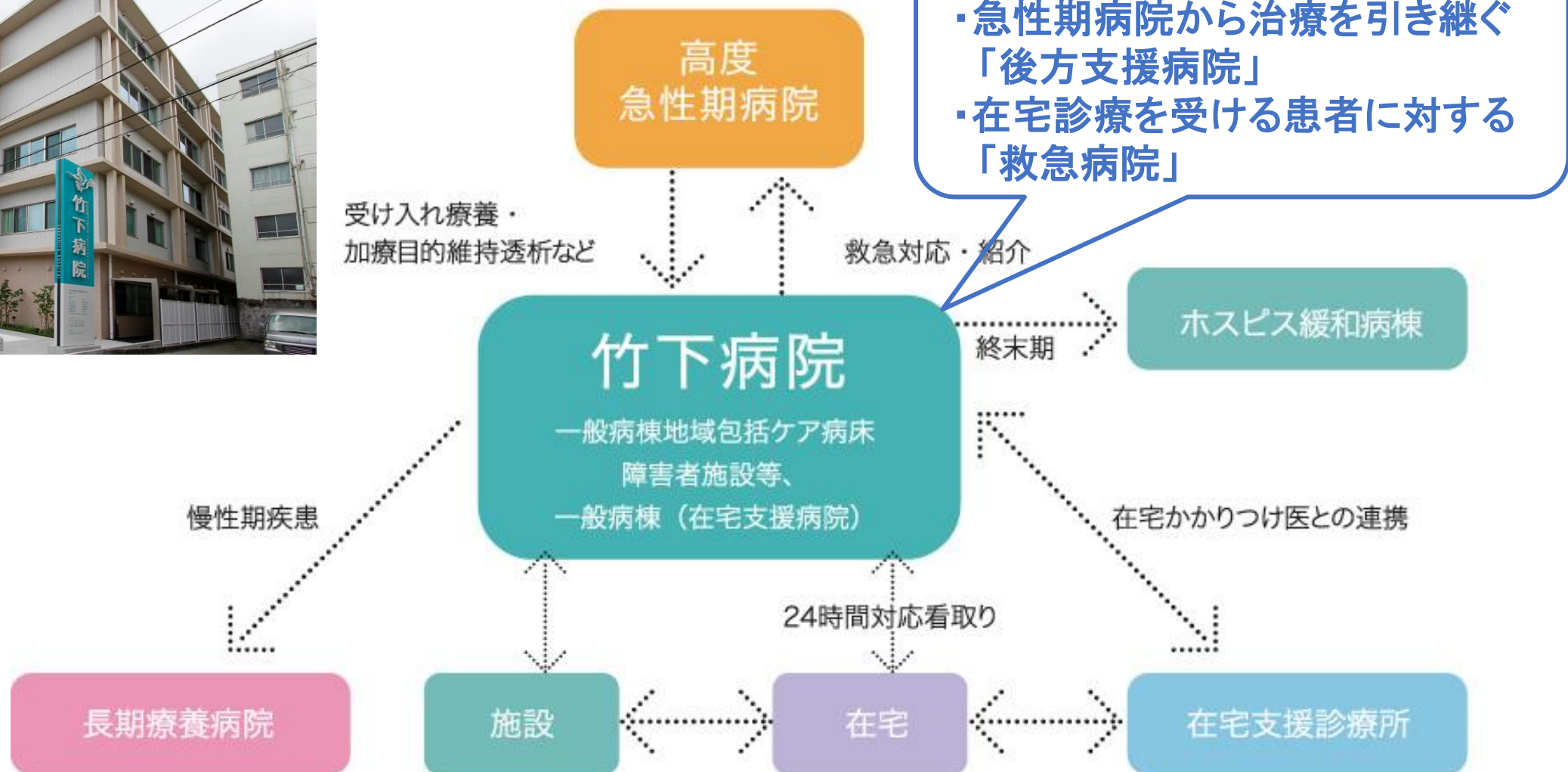
「物忘れ外来」

「在宅医療部門」

開設



病院地域連携図



・急性期病院から治療を引き継ぐ
 「後方支援病院」
 ・在宅診療を受ける患者に対する
 「救急病院」

受け入れ療養・
加療目的維持透析など

救急対応・紹介

終末期

慢性期疾患

在宅かかりつけ医との連携

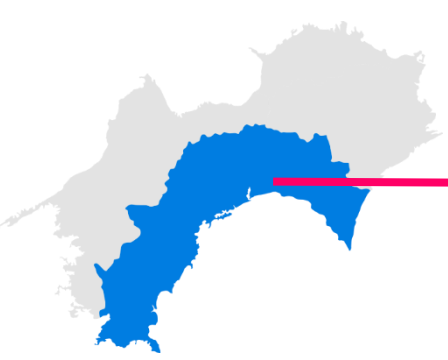
24時間対応看取り

医療療養型病床
介護療養型病床

老人保健施設 高齢者住宅
老人福祉施設 有料老人ホーム
ケアハウス グループホーム

●地域包括支援センター 訪問介護
 ●デイケア ・デイサービス 訪問リハビリ
 ●居宅介護支援事業所 訪問診療
 訪問看護

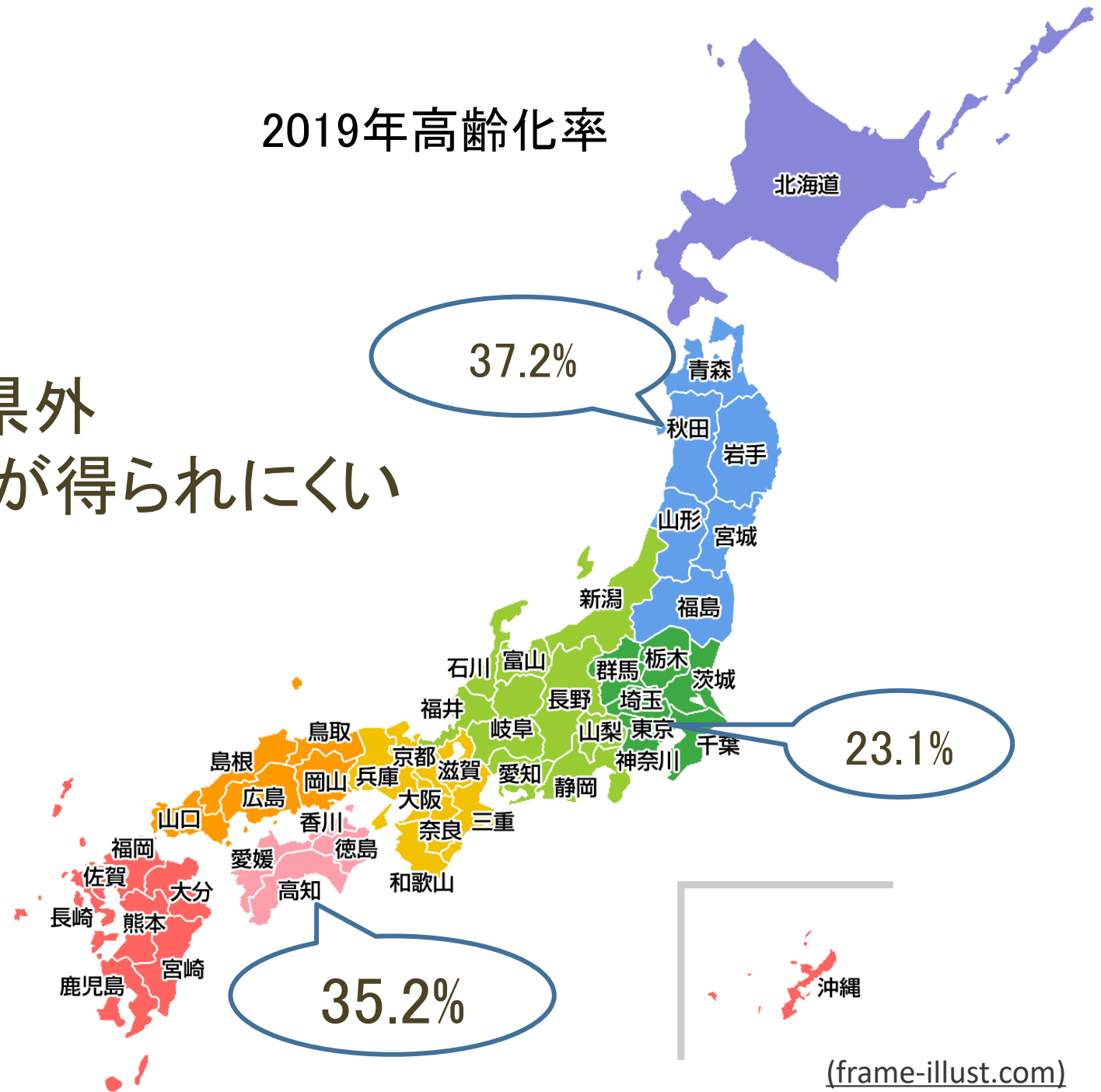
*赤字は当院で提供できる在宅サービス



高知県の特徴

- * 高齢者が多い
- * 独居が多い
- * 家族(子供)が県外
→ 受診に協力が得られにくい

2019年高齢化率



高齢化率は
全国**2位**！！

2004年(私が医師になった数年後)
秋田26.1%、高知25.3%、東京18.0%

2045年(厚労省将来予測)
秋田50.1%、高知42.7%、東京30.7%
(すべての都道府県で30%未満はない)
→急速に超高齢社会は進行する

どうして高齢診療科に入局したの？

- 学生の中に将来の臓器別専門科をしぼりきれなかった
(飽きっぽい性格もあり)
- 臓器別のみの診療医にはなりたくない気持ちもあった
- いずれは高知に帰郷することになる
- 将来必ず超高齢社会になる！
(高齢者を診ることが避けられない)

それなら高齢者を診ることができる医師になろう！

入局してどんな経験ができたの？

- 多疾患が複雑に絡み合った病態が普通であり、プロブレムリストを作成し、診断・診療の優先順位をつける
- 超急性期病院に入院して病気を治療したらおしまい、ではなく、その人の生活や社会的背景を考慮した退院調整も行う
- 退院調整は医師のみでは解決できないことが多く、多職種との連携が自然と生まれる
- 医療者のベストを押しつけるのではなく、患者のベストを考える
- 高齢だから、という理由で簡単に逃げない、あきらめない
- 「高齢者を診る」という姿勢や態度が学べる



そしてついに

14年間勤務した大学病院を離れ、高知に帰郷
すると決めたものの、果たして大丈夫か…

めちゃくちゃ
不安…



しかし高知に帰郷してみると・・・

大学病院で診ていた患者層と同じ、主流は高齢者 × 認知症！

- 地域医療で最終的に頼りにされたのは老年医学
- 一般内科の開業医、介護施設、多くの一般病院、在宅医療はすべて老年医学が基本
- 急性期病院、後方支援病院、在宅医療どの場面においても通用する診療スタイル



私が把握している限りでは...

認知症専門医 × 老年病専門医 × 高知県 = 1人

私です

私が把握している限りでは...

日本認知症学会教育施設 × 日本老年医学会認定施設
× 高知県 = 1病院

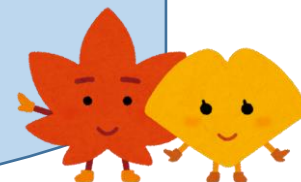
竹下病院です

高齢者専門としての総合内科と
認知症の両方が診られる医師が
全国に少ない！！

現在力を入れている在宅医療について



独居のため受診の同伴者がいない
同伴者はいるが受診同伴のため仕事を休んでもらう必要がある
身体の衰えや認知症のため外来で長時間待つことが大変である
患者さん自身が定期的な通院を希望しないため家族が困っている



現代の社会において多くの高齢者が抱えている問題に対して在宅医療を実践

この分野も高齢者 × 認知症が主流！



契約患者数：2017年9月当初3名→2021年11月現在56名

どこに入局するか迷っているあなたに・・・

- 急速に進む超高齢社会の主流は、**高齢者 × 認知症**
- 「高齢者を診る」はここでしか学ぶことができない、臓器別と異なる
高齢者の総合内科専門領域
- **超急性期病院 × 高齢者 × 認知症**で鍛えられたスキルは、全国
どこでも確実に活かすことができる
- 臓器別専門だけが続けることができるのはごくわずか
- 地域密着医療＝何でも診る姿勢は、これからの医師人生で不可欠
- 患者、患者家族、看護師、介護士、薬剤師、ソーシャルワーカー、
ケアマネージャー、他の医療機関などから、絶大な信頼が得られる



高齢診療科は高齢者を笑顔にし、医師としてのスキルを積み上げられる素晴らしい環境です！

高齢診療科に入局して、一緒に頑張りましょう！！